

令和2年度文化創造関連事業実施計画

文化創造課の新規事業として、北陸国際工芸プラットフォーム形成事業に参画する。また、「ユニークベニューTAKAOKA プロジェクト」や「未来へつなぐ舞台鑑賞事業」、「アート&クラフトシティ高岡を表現した事業（クラフト市場街など）」を継続して実施することにより、若い世代の継続的な関わりを生み、まちなかのにぎわい創出や関係人口の増加につながるような取組みを推進する。

1 アート&クラフトシティ高岡を表現した事業の実施

(1) 工芸都市高岡の秋 2020（知る・創る・つなげる・伝える）

9月19日（土）～22日（火・祝）を会期として、「高岡クラフト市場街」「工芸都市高岡クラフト展」「ミラレ金屋町」の3つのイベントを同時開催予定。文化創造課の予算事業である「高岡クラフト市場街」においては、風情ある「町並み」や「食」を楽しみながら、質の高い「クラフト」に出会うことができるイベントを展開するとともに、イベント期間だけでなく継続的に、クラフト市場街の関係者が山町筋に滞在できる交流拠点を作るなどの、新しい展開を検討している。幅広い世代を対象とした創造の場づくりを目指す。

(2) 北陸工芸プラットフォーム形成プロジェクト（知る・創る・つなげる・伝える）

北陸の工芸産地が連携してプラットフォームを形成し、世界から北陸へ交流人口の拡大を創出すること等を目的としたプロジェクト。2019～2021年度の3か年で以下の事業を実施し、インバウンドの拡大、若手作家の活躍機会の創出、先端技術や異分野との連携、工芸産地のネットワーク化による工芸のイノベーションなどを図る。

① 世界と北陸の文化資源をつなぐコンシェルジュ機能の整備

- ・ ツーリズムパッケージの造成：北陸の各産地の工芸祭（クラフト市場街、ミラレ金屋町、工芸都市高岡クラフト展含む）と工房・工場見学をつなぐ共通パスポートの作成、着地型旅行商品の造成と、旅行会社等への売込み
- ・ 各地の観光DMOと連携した一体的な情報発信・ブランディング、PRの実施。
- ・ ポータルサイトの構築（ウェブサイト、SNS、PR動画）

② 大型ショーケースの開催

9～11月の日本博期間中に、金沢21世紀美術館の前館長・秋元雄史氏の監修による若手工芸作家の育成・輩出を目指す展覧会を、高岡市を含む6市で開催

③ ビジネスマッチングツアーの実施

有識者、インフルエンサー、投資家等（海外含む）と、若手工芸作家のビジネスマッチングを目的とした工房・工場見学ツアーを実施

(3) 文化創造都市高岡市民会議（知る・創る・つなげる・伝える）

アート&クラフトシティ高岡推進委員会と協議し、幅広い世代に、本市の歴史・文化の魅力を知ってもらう機会を創出する。（今後A&C推進委員会にて協議）

2 文化創造都市高岡ウェブサイトの運営（知る・伝える）

ウェブサイト「文化創造都市高岡」の内容の充実を図る。高岡市 FB でのシェアなど PV 数向上の工夫を継続する。令和元年度に作成した「高岡とつながる人々」カテゴリを充実させるなど、市内だけでなく市外への情報発信を積極的に行う。

3 ユニークベニューTAKAOKA プロジェクト（知る・創る・つなげる）

まちなかの施設やパブリックスペースなどを活用して、市民が芸術文化に親しむ機会やアーティストが活動する場、また市民とアーティストが交流する場をつくる。

4 万葉のふるさとづくり関連事業

(1) 万葉歴史館展示室魅力向上事業

万葉集を典拠とする新元号「令和」への改元を機に、万葉歴史館への来館者が増加しており、さらなる満足度の向上や、幅広い層への訴求、万葉ファンの拡大を図るため、常設展示室、企画展示室の改修を行う。

(2) 高校生万葉短歌バトル（知る・創る）

万葉のふるさと高岡で、高校生によるチーム対抗短歌大会を開催。

8月23日（日）／富山銀行本店ホール

5 日本遺産をはじめとする歴史・文化資産を活用した魅力発信関連事業

(1) 日本遺産推進協議会への補助（知る・創る・つなげる・伝える）

日本遺産は、令和2年に認定ストーリーが100件に達する見込みである。これら全国の日本遺産と連携したPRと、関係機関への働きかけを継続する。さらに市民一人ひとりに日本遺産認定された本市の歴史に誇りを持っていただけるよう、周知に取り組む。

(2) 北前船日本遺産推進協議会への参加

平成30年に追加認定を受けた「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間（北前船寄港地・船主集落）」について、加盟自治体で組織する北前船日本遺産推進協議会と連携し、ストーリーの周知や商品造成に取り組む。

6 藤子・F・不二雄氏の顕彰にかかる関連事業

(1) アトラクティブ高岡推進事業（知る・つなげる・伝える）

ドラえもんトラム、電停、ポストなどの継続実施。

(2) 高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの運営（知る・伝える）

7 beyond2020 認証取得の支援（知る・伝える）

日本文化の魅力を発信するとともに、障害者にとってのバリアや外国人にとっての言語の壁を取り除く取組みに対する認証の取得を支援する。

8 高岡市民文化振興事業団への委託・補助による文化振興事業（知る・創る・つなげる）

地域の芸術文化の振興を図るため、市民文化振興事業団と連携し、市民文化の普及向

上に関する文化振興事業に取り組む。

<特徴的な事業>

- ・高岡市芸術祭
- ・10歳のファーストコンサート、劇団四季「こころの劇場」
- ・音楽文化のまちづくり事業（オーケストラ公演、風と緑の楽都音楽祭等）
- ・高岡文化ストック⇒クラウド事業（第一線で活躍するアーティスト等を講師としたワークショップやクリニック）
- ・市民文化創造活動活性化事業（「パープル」とのサロンコンサート、ピアノ演奏体験など）

<指定管理委託している文化施設>

① 高岡市万葉歴史館

企画展「万葉写真展」

万葉のふるさと高岡フォトコンテスト入賞作品展

越中万葉ウォーク

万葉関連資料の収集、調査・研究 など

② 高岡市美術館

高岡市美術館創立70周年プレ企画春コレクション展（仮称）

コレクションにみる高岡の金工・漆芸（仮称）

クリエイティブたかおか

GEIBUN 12（富山大学芸術文化学部大学院芸術文化学研究科卒業・修了研究制作展）

大澤光民の世界一人間国宝としての歩みー（仮称）

③ 高岡市立博物館

特別展、常設展、館蔵品展ほか

④ ミュゼふくおかカメラ館

コレクション展

企画写真展 など